



# 碧南ロータリークラブ"週報"

第2327回例会 平成18年8月30日(水)

●会長 杉浦健次 ●幹事 石川春久 ●会場監督(SAA) 棚田道和

■例会日 毎週水曜日 12:30

■例会場 碧南商工会議所ホール

■事務局 碧南商工会議所内

〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)

■会報委員 角谷信二・新美惣英・清澤聰之



2006~2007年度  
国際ロータリーのテーマ

**LEAD THE WAY**

**率先しよう**

できるひとが  
できるときに  
できるところで

## ● 齊唱

ロータリーソング「手に手つないで」

## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

## ● 本日のお客様

米山奨学生 徐 林杰様



杉浦健次会長

## 会長挨拶

去る6月28日、米国で慈善団体の評価を行う大手組織『チャリティー・ナビゲーター』が「ロータリー財団の会計管理における信頼性」に対し最高を表す4つ星の評価を下しました。米国には140万の慈善団体があるそうですが、ロータリー財団を含め1085団体が最高の評価を受けました。財団がこのように認められたのはロータリアンのボランティア活動の成果であり、会員の皆様にお知らせ下さいとの事ですので、ご披露申し上げます。

また、8月25日に地区職業奉仕委員会委員長会議が行われ鈴木昭洋職業奉仕委員長と石川春久幹事に出席をして頂きました。碧南RCがホストをして開催された2001~02年のRI第2760地区地区大会のロータリーミーティングで「一隅を照らす」—新世代のロータリークラブーと題して講演を頂いたRI第2580地区パストガバナー佐藤千壽氏が「道徳と資本」—ロータリー第三の波ーの演題でお話をされました。「株主資本主義時代の公開企業経営にロータリーの職業奉仕論が果たして機能しえるか?」「利潤追求の道が物財生産より知財創出と金融派生商品に移行する経済先進国でロータリーは如何なる貢献をなし得るか?」の投げかけから真の職業奉仕の原理原則を説かれ、このまま推移すると、ロータリーは実業界の経営者として力ある現役の会員が日毎に減少して行き、宮利とは道の異なる独立専門職務の階層が主導権を持つことになるだろうと警鐘をなされました。ロータリーの原点は親睦と職業奉仕であります。会員一人ひとりがご自分の職業を通して社会貢献をされます様ご期待申し上げます。

## 幹事報告

・他クラブの例会変更は幹事報告書の通り。

・9月6日(水)

①11時00分~11時50分 (102号室)

ガバナー補佐訪問に伴い会長・副会長・会長エレクト・

正副幹事懇談会の開催

②13時40分~15時10分 (予定) (101号室)

ガバナー補佐訪問に伴うクラブ協議会開催

・9月13日(水) 13時30分より理事会の開催 (201号室)



- ・地区大会（11月18日と19日）出欠席の確認依頼  
8月30日締め切り、事務局まで返信をお願い致します。

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数 78名（内出席免除者 13名）出席者 62名	
出席対象者 54／65名	出席率 80.08%
欠席者16名(病欠者0名)	前々回修正出席率 100%

### 〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

山中 寛三君 8月27日の日曜日藤井達吉先生の命日鶴頭忌に出席しました。長田豊治会員ご苦労様でした。

鈴木 並生君 22年会のメイン行事が無事終わりました。木村徳雄君にお世話になりました。

長田 豊治君 8月27日（日曜日）に昆沙門天妙福寺さんにて藤井達吉翁追弔会鶴頭忌を多くの皆様のご参加を頂き盛会裡に開催出来ました。皆様に心より感謝申し上げます。

木村 徳雄君 いろいろな方にお世話になっておりまして、皆さん有り難うございます。

竹中 誠君 木村徳雄君のお蔭で2泊3日の楽しい旅が出来ました。

榎原 健君 8／26・27両日にかけ、碧南サマーカップ2006少年サッカー大会を碧高グランドにて行いました。今年も碧南チームは優勝出来ませんでしたが、無事終了しました。

杉田 茂君 本日、卓話をします。

鈴木 健三君 本日の卓話をさせて頂きます。

### 〈雑誌委員会〉

俳壇入選 河骨や花は流れに凜と立ち 青木 稔君（ロータリーの友 9月号⑭ページ）

## 卓話

### 「私の履歴書」 会員 杉田 茂君

私は昭和28年8月、半田市亀崎の生まれです。幼い頃の思い出では、伊勢湾台風の想い出が鮮明に残っています。私の家が望州楼の近くであり、見晴らしが良く、風の通りも良い場所に居ました。夜間風が強くなり家が揺れるたびに母親にしがみついていた記憶と翌朝幼稚園に行ってみると、正面の瓦が全て剥ぎ取られていた記憶が残っています。半田市立亀崎学校時代は、夏は水泳競技で半田市の代表となり中部大会に出場し50mで3位の記録があります。市立亀崎中学校時代は野球部に所属しましたが成績はいまいちでした。学力もいまいちで、親に心配をかける子供でした。中二の初めに担任の先生に学校の成績の事で注意されてから必死に勉強し県立半田高校に入学しました。入学時に各クラブより誘いがあり、その当時女子に人気があり、森田健作「俺は男だ」で人気の出た剣道部に入部しました。不純な動機で入部した為短期間で退部を決意し、主将に申し出たところを説得され続けたことにより、1年生時の昇段試験で初段に合格し2年生時に二段に合格しました。剣道は「礼に始まり礼に終わる」正しい姿勢と基本の形の面・胴・小手を取ればすぐに初段、二段と合格です。実践の強さでの昇段試験ではありません。楽しい高校生活を送り大学は国公立を受験しましたが見事に失敗し、信用金庫に就職しました。あまりにも封建的社會組織だったので驚きました。3年間は朝早くから玄関のゴミ拾い、先輩の机拭き、灰皿の片付け、ゴミの箱の処理等をやりました。10年間勤務し、ワックスメーカーに転職しました。大阪、東京、札幌と2カ年ほど名古屋から離れました。その後アメリカのシカゴで3ヶ月の研修を経験しました。11年間勤務し現在の朋栄社に専務取締役で入社しました。3年前の平成15年3月31日に現在の会長より、「明日から社長職で頼むな」のみの言葉で就きました。碧南RCに平成17年10月12日に入会し11ヶ月が早くも過ぎました。楽しくクラブに参加させて頂いております。今後もご指導を宜しくお願ひ致します。



## 「名付け親 藤井達吉翁」について 会員 鈴木 健三君

実は今回、何を話そうか本当に悩みました。まあ、どうせ話すなら、おらしく新入会員として、杉浦健次会長の今期の活動方針内容に合わせて①日本（碧南）の文化を考え、②ロータリーを学ぶという内容に自分の体験を加えて話しを組み立ててみました。演題にあるように、私の名前の由来など妻や子供でも全く興味がなく、ましてや皆さんには全くどうでもよいことだと思いますが、これが、こと名付け親が、かの藤井達吉翁で、他人の名前をつける時にどんな考えを持っていたかという事実は人物像の一部を語る上でも重要だと思われる所以、その点だけでも聞いて下さい。その後、この名前のために経験できることを履歴書風にして、さらに「ロータリーを学ぶ」と題して、私どもの歯科関連の大須の「歯歯塚」の建立の由来などにも触れたいと思います。まず日本（碧南）の誇れる文化（偉人）と言えば…私は清沢満之翁と共に「藤井達吉」があげられると思います。私は自慢ができるものがほとんどなかった人間ですが、ここ数年来、碧南の藤井達吉ブームのおかげで自慢が一つできました。私の生年月日は昭和30年1月18日です。中学の同級生には当RC内では鈴木輝彦君、新美宗和君、事務局の（旧姓永坂直ちゃんこと）森直子さんがいます。森さんには当時のグループサウンズしかもマニアックなテンプターズのファンクラブ（大口ひろし）に強引に誘われた思い出があります。時系列で語ると30年の1月の終わり頃、藤井先生に名前をつけて頂いた事になります。そしてその日をピークに本日まで右肩下がりに人生を過ごしたわけです。経過はこんな風です。その頃、当クラブのメンバーでもある従兄弟の「長田昌昇」先輩の父・故長田一郎氏、そして私の父・鈴木常次が藤井先生に趣味を通して非常に懇意にしていただいていたそうです。

私はこれでも一応鈴木家の10代目に当る待望の長男誕生でしたので、父はとても気合が入り、名前はどうしても尊敬する藤井先生につけて頂きたかったようでした。ちなみに家の屋号は数字の八の字を書いた「常八」、11代目の長男は「十一」と書く武士の「士」を使い、「健士郎」と言います。藤井先生は皆さんもご承知のように大変気難しいところがあったそうです。そこで父は私が生まれてから藤井先生のご機嫌の良い日を狙っていたようでした。ここからは間違えがあるといけませんので父の回想録なるものを読ませていただきます。まず、先生は名前というものは体を現すという「一郎」「二郎」「三郎」という数字の入った誰にも分かりやすいものであるべきと説かれたそうです。

健三が生まれた時、丁度、碧南が生んだ偉大な芸術家藤井達吉先生が碧南にお住まいになっておられ、私が先生に可愛がって頂いていたので命名をお願いに行きました。先生の「達」の一時を頂きたいと申し出たら「俺の達吉はあまり良い名ではない。別に考えてやろう」と言われました。「瀬戸の作家たちが「達吉」の「達」という字を頂いたと話をしているが…」と質問すると「おれはあいつらが勝手に言っているだけだ。大体、他人の名前など今までつけたことがない」と言われました。まず、先祖にどういう名の人がいたかとか聞かれ、先祖は床屋をやっていて、代々襲名していた名が「常造」でした…と言いましたら造るの「造」はあまりよくないから数字の「三」にしなさい。「三」は全てであり、人間の全てとは「眞、善、美、知、徳、体」である。その全てが健全であれば申し分ないのでから、上に「健」をつけて「健三」にして将来、家を継いでくれる男子だから大事に育てなさい。と命名していただいた。とあります。私は十数年前、今でもCBCラジオ他に出演している某占いの方にこの話をしたところ人の名前にこの「眞、善、美、知、徳、体」が入っているのは人間にとて非常に大切なものであるから無意識に使われてしまうものだと改めて聞かされました。「三」という字を使った「三国一の花嫁」とか「三国志」という「三」はもちろん3つの国という意味でなく、藤井先生の言われる「全て」の国という意味に当るそうです。私はこの名前のおかげで色々な方と知り合うことができました。

大学では名簿順が「あいうえお」順だったので杉山辰行という…彼も名古屋のあるロータリー



クラブのメンバーですが席が隣ということで親しくなりました。この杉山さんの御兄さんであるサンダー杉山さんこと杉山こうじさんとも大変親しく交際させていただきました。数年前に亡くなられたときは、この名前のおかげで「テンカウント」という追悼セレモニーで地元・前浜出身の「鈴木健三」君とも顔を合わせることができました。私は自分と「鈴木健三」選手との立場を勘違いして、非常に恥ずかしい思いをしたものです。こんなことで心から藤井先生に感謝している1人でございます。私の厄年の前後に父に「藤井先生に名前をつけて頂いたわりにはあまりご利益がない気がするが?」と尋ねたら「そう言えば、命名を一生懸命頼んだときに「本当は名前なんかどうでもいいんだがな」と最初に言われたな…と…。

## ②ロークリーを学ぶ

名古屋の大須観音の正面左奥に「歯齒塚」昭和52年8月8日建立・という塚があります。これは大須ロークリークラブがメンバーの知り合いのために運動してできたものです。歯齒塚の文字は愛知県元知事 桑原幹根の書になり、発起人3名の中には大須RCの大須ういろ社長の山田昇平様もみえます。

数年前、歯科医師会の事業の一環として、このお墓のお守りというか掃除をすることになり大須観音岡部神主にお会いすることがあり、丁度ガバナーを務められておられましたが、その立場というものが全く分からずに、神主に呆れられたことを思い出します。

次回例会案内 平成18年9月13日（水）

「青少年活動の助成金贈呈及び活動報告」

碧南市スポーツ少年団 本部長 石川宇一氏

碧南市スカウト育成連絡協議会 小林尚徳氏